

2025 年 4 月 24 日
立命館大学大学院 生命科学研究科

【お知らせ】生命科学研究科 入学試験要項に関する訂正について

生命科学研究科 入学試験要項 (2025 年 9 月入学および 2026 年 4 月入学) におきまして、記載内容の一部に誤りがありました。以下の内容にて、修正内容をご確認ください。

受験生の皆さまならびに関係者の皆さまには、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 大学院入試情報サイト掲載分について
2025 年 4 月 24 日に、修正版を掲載しております。
2. 冊子（印刷物）について
次ページ以降の訂正文書をご確認ください。

以上

2026 年 4 月入学生命科学研究科入学試験要項の記載内容に関するお知らせ（訂正）

このたび、皆さまにお配りした「2026 年 4 月入学生命科学研究科入学試験要項」の記載内容の一部に誤りがございました。受験生の皆さまならびに関係者の皆さまには、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

つきましては、修正箇所の新旧対照表を、以下のとおり案内いたします。ご確認のうえ、お間違いのないようご注意ください。

修正箇所の新旧対照表

1. 生命科学研究科の DP（学位授与方針、ディプロマ・ポリシー）の修正

博士課程前期課程(2026年4月入学 入学試験要項 P.1「ディプロマ・ポリシー」)

旧	新
博士課程前期課程では、人材育成目的を踏まえ、修了時に以下の教育目標を達成していることが求められる。その上で、生命科学研究科が定める所定単位の修得と博士課程前期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格した者に修士学位を授与する。	博士課程前期課程では、 <u>生命科学研究科が定める所定単位の修得し、</u> 人材育成目的を踏まえ、修了時に以下の教育目標を達成していることが求められる。その上で、 <u>各専門分野における真理探究を目指した論文を提出し、</u> 博士課程前期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格した者に修士 <u>（理学）</u> を授与する。 <u>持続可能な社会への応用を目指した論文を提出し、博士課程前期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格した者に修士（工学）を授与する。</u>

博士課程後期課程(2026年4月入学 入学試験要項 P.13「ディプロマ・ポリシー」)

旧	新
博士課程後期課程では、人材育成目的を踏まえ、修了時に以下の教育目標を達成していることが求められる。その上で、博士課程後期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格した者に博士学位を授与する。	博士課程後期課程では、 <u>生命科学研究科が定める所定単位の修得し、</u> 人材育成目的を踏まえ、修了時に以下の教育目標を達成していることが求められる。その上で、 <u>各専門分野における真理探究を深めた論文を提出し、</u> 博士課程後期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格した者に博士 <u>（理学）</u> を授与する。 <u>持続可能な社会への貢献に寄与する論文を提出し、博士課程後期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格した者に博士（工学）を授与する。</u>

2. 生命科学研究科のCP（教育課程編成・実施方針、カリキュラム・ポリシー）の修正

博士課程前期課程（2026年4月入学 入学試験要項 P.1「カリキュラム・ポリシー」）

旧	新
③「研究科目」は、専門領域における研究能力、日本語または英語による論理的文章力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力、問題設定・解決能力を養成するために配置された科目である。	③「研究科目」は、専門領域における <u>真理探究を目指す研究あるいは持続可能な社会への応用を目指す研究を行う</u> 能力、日本語または英語による論理的文章力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力、問題設定・解決能力を養成するために配置された科目である。

博士課程後期課程（2026年4月入学 入学試験要項 P.13「カリキュラム・ポリシー」）

旧	新
②「研究科目」は、専門領域における創造的な研究能力、日本語または英語による高度な論理的文章力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力、問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを養成するために配置された科目である。	②「研究科目」は、専門領域における <u>真理探究を深める研究あるいは持続可能な社会への貢献に寄与する研究を自ら推進する</u> 能力、日本語または英語による高度な論理的文章力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力、問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを養成するために配置された科目である。

以上